

# えほんのおへや通信



2016年3月1日(火)発行 サンガこども園

今年の冬はおだやかな暖かい日が多く、外遊びをしても汗ばむほどでした。春はもうすぐです。

**サンガこども園で定期購読しています福音館書店の月刊幼児絵本「こどものとも」3月号の紹介。**

<p><b>こどものとも 0.1.2</b> 10ヶ月～2歳向き</p> <p>「みっこちゃん」 にしむらあつこ作</p> <p>子どもの一日を楽しくシンプルに描きます。一日の出来事がリズムカルな文章でくり返されます。</p> 	<p><b>こどものとも 年少版</b> 2～4歳向き</p> <p>「こたろうのさかなつり」 ねぎしたかこ文 / 竹中奨絵</p> <p>猫のこたろうは、えさのミミズが入ったバケツとつりざおを持って、川へ魚つりにでかけました。「えいっ」とつりざおをふり、はりきってつりを始めますが・・・</p> 
<p><b>こどものとも 年中向き</b> 4～5歳向き</p> <p>「ポッキーとトム」 かのめたかし作・絵</p> <p>少年トムは、たろじいちゃんが飼っている馬の産んだ子馬が、かわいくてたまりません。ずっと子馬と一緒にいようと連れて帰ろうと・・・</p> 	<p><b>こどものとも</b> 5～6歳向き</p> <p>「はるちゃん もうすぐ いちねんせい」 秋山とも子作</p> <p>はるちゃんは、ランドセルや文房具を買いに、デパートにやって来ました。つつい他の売場に寄り道してしまうお母さんたちを引っ張りながら、はるちゃんは張り切って子ども用品売場をめざします。</p> 
<p><b>ちいさなかがくのとも</b> 3～4～5歳向き</p> <p>「ぴったりこん」 小野寺悦子文 / 池谷陽子絵</p> <p>腕で大きな輪っかをつくるよ。指先ついたら、それが僕の「ぴったりこん」。ぴったりこんのものを探して、男の子はおもちや箱やクッキー缶、キャベツや飼い犬など色々なものに抱きつきます。でもぴったりこんのものは、なかなか見つかりません。</p> 	<p><b>他にこんな絵本も購入しました。</b></p> <p>「世界のどうぶつ絵本」 前田まゆみ 文と絵</p> <p>4歳から あすなろ書房</p>  <p>動物好きな子のための、ちょっとくわしい動物図鑑えほんです。みんなが知ってるおなじみの動物から、珍しい絶滅危惧種まで、130種の動物を、イラストで紹介しています。体の特徴や、好きな食べもの、うまれ方、育ち方などが、一目瞭然です。シマウマは、なぜしましまができるのか？ など、知っていそうで意外と知らない動物の生態も、わかりやすく解説しています。どの動物も、親子で過ごす様子がていねいに描かれています。</p>
<p><b>【雑感】</b></p> <p>人間は皆、「原風景」を持っております。それを基本に周囲の事物を判断していると言います。そして原風景に出会うと、何かなつかしいような、温かいような、優しい幸福感にとらわれます。</p> <p>子どもたちに私たち大人が与えられるもの、また与えるべきもの、それをよくよく考えなければなりません。幼い時の体験はその子の原風景となり、それに触れた時、生きる喜びと力を与えてくれます。原風景がテレビやゲームでは悲しくなります。私たちは子どもたちに原風景となり得る自然の美しさ、不思議さを伝えたいといつも思っています。</p> 	

※年齢は目安です。